

A. 身近なことから経営学を学ぶ

—大学という創造空間を自由に泳ぎ回るために—

1. 基礎セミナーの目的——学問の方法を学ぶ

大学は、すでにできあがった既存の知識をテキストなどを通じて学ぶだけでなく、新しい知識の創造に参加する場です。みなさんは少なくとも4年間そうした環境に身を置くわけですが、その際に必要とされるいくつかの“方法”を修得するのが基礎セミナーの目的です。具体的にいうならば、1年生の春学期（第1セメスター）の段階では、さしあたり以下のような「方法」を身につければ、このセミナーの目的は達成したことになるでしょう。

a) パソコンの操作方法

電子メールとブラウザの使い方

文書作成および表計算、プレゼンテーション・ソフトの使い方

b) 情報収集および情報発信の仕方

図書館の使い方

インターネットによるウェブ検索の可能性と限界について

情報倫理の基礎知識を体得するとともに感性を磨く

c) 文献の読み方と要約の仕方

d) 研究報告の仕方

ハンドアウトの作成方法とプレゼンテーションの仕方

e) 建設的批判 (constructive criticisms) の方法、仲間と協力してものごとを成し遂げる方法

2. 基礎セミナーで学ぶこと——「企業と社会」

上記の目的を達成する方向で、マネジメントとは何か、一緒に考えてみます。経営学の対象領域は広範囲に及びますが、本年度は、わが国の小・中・高等学校で進展している「こころのマネジメント」について批判的に吟味してみましょう。

3. セミナーの規則とマナー【とても重要】

- (1) セミナーに「出席」するのは当然のことです。学習プログラムは、段階的に構成されているので、遅刻や欠席が後になって響いてくるだけでなく、グループ学習の際には同僚の迷惑となります。
- (2) セミナーのプログラムに積極的に「参加」する姿勢が不可欠です。学ぼうという姿勢の見られない人、欠席・遅刻や居眠りを繰り返すなど教室の雰囲気害する人に対しては、減点はもとより、退室などの措置をとり、成績評価の対象から外します。温情的に単位を認定するという事は一切致しません。
- (3) やむなく欠席するときは、あらかじめ連絡するのが常識であり、不可欠のマナーです。とくに報告を担当している場合には、別の人に報告を代わってもらうなど、各自の責任で前もって適切に対処してください。突然の遅刻や欠席は、同僚に迷惑をかけるだけでなく、あなた自身の単位修得の可能性がなくなることを意味しています。
- (4) ソフト・ドリンクス (soft drinks) を、このセミナーに限り、飲んでよいです。想像力を働かせるためには、肩の力を抜いてリラックスすることが大切です。ただし、図書館など飲食物の持ち込みが禁止されている場所でセミナーをおこなう際には、当然その規則に従うことになります。

4. 成績評価について

成績評価の範囲はセミナー活動のすべてに及びます。(1) クラス・ディスカッションや授業プログラムへの参加度、(2) プレゼンテーションの達成度、(3) 同僚の報告に対する建設的批判、(4) 報告会の

運営やチームワーク、(5) INFOSS情報倫理の自習が主要な評価項目です。これらを総合的に勘案して最終的な評価をおこないます。上記のセミナーのマナーも評価の対象です。経営学部の基本方針として、**INFOSS情報倫理の100点取得が単位認定の前提条件**です。これの学習はウェブサイトで自主的におこなうものです。

配点はおおよそ次の通りですが、課題の達成度と授業の進捗状況を勘案して調整します。ニュースの紹介(10%)、テキストの報告とディスカッション(50%)、クリティカル・シンキング(20%)、セミナーへの積極参加(20%)ですが、授業の進展度合いに即して調整します。また、みなさんに成績評価に参加してもらおうつもりです。

無断欠席は減点の対象となります(8点/1回)。欠席と遅刻(遅刻2回で欠席1日にカウントする、30分以上の遅刻は欠席扱い)が全授業日数の3分の1を超える(6日以上)場合には、出席日数不足となり、成績評価の対象からはずれます。クラブによる欠席は1/3欠席となります。公欠は認めます。

5. 学生諸君との授業時間以外でのコンタクト

Office Hoursの時間を設けていますので、積極的に活用してください。時間帯はウェブサイトを確認してください。上野のメールアドレスは、<ueno@cc.kyoto-su.ac.jp>です。

B. 最初にする事

1. 最初の課題「わたしの選んだニュース」

課題の内容を再確認したいときは、下記のウェブページを見てください。

2. テキストを入手する

次のテキストを各自入手してください。このテキストを使って報告会とグループ・ディスカッションを組織します。

小沢牧子『「心の時代」と教育』青土社, 2008.

雄飛館1階のブックセンターにて入荷次第販売予定です。店頭で求めてください。

3. 次回の教材のダウンロード

授業の進行に合わせて、以下のURLに資料を掲載しますので、各自でコピーしてください。授業にかかわる連絡もこのページでおこないます。まずは次回の授業で使う教材を印刷してください。moodleからこのページに入れます。

<http://www.cc.kyoto-su.ac.jp/~ueno/students/kiso.html>

C. セミナー室以外での学習

1. 図書館ガイダンス

4月17日(火)は図書館ホールに集まって下さい。

2. INFOSS情報倫理ガイダンス

5月8日(火)は10号館の情報処理教室(10205教室)で行います。

3. 留学ガイダンス

7月10日 _____ 教室